

開催日 2011/10/04(火)

場所 福岡県直方市（調査地点コード 400220）

講師 田中・南光〔森林総研本所〕, 石塚・稲垣・釣田〔森林総研九州支所〕

● 概要

西日本ブロックを担当する、(株)クリタス職員及びその下請業者 9 名を対象に実技講習会を実施した。講習会当日の天気は晴れ時々曇り。気温が例年よりは低めであったが、過ごしやすく調査するには快適であった。

前日の調査地点確認は業者が行った。講習会当日の 9:15 に直方市内のコンビニエンスストアに集合し、そこから車で現地に移動した。講師陣は、九州支所メンバーが 6:30 に支所を出発し、前泊していた本所メンバーと直方市内のホテルで合流した後に集合場所に向かった。30 分程で調査地点直近の駐車スペース（福知山ダムのダム湖岸）に到着した。

駐車スペースから調査地点までは急傾斜の斜面を藪漕ぎしながら登っていった。約 30 分かかった。調査地点はヒノキを中心とした人工林であり、傾斜が 40 度を超える場所もあった。下層植生が少なく地表に礫が多く、人為による小規模落石が頻繁に起こった。安全と足場の確保を第一に作業を進めた。

午前中は概況調査・枯死木調査を行った。第一期との相違点を明確にしながら、綿密に講習した。今回の調査地点には倒木、根株、立枯木とすべての種類が存在したため、具体的な測定方法を実際にレクチャできたのが良かった。想定以上に多くの枯死木が存在していたため、午前中には枯死木調査のすべての工程が終了しなかったため、午後の空いている時間に講師 1 名と受講者 1 名の計 2 名で終わらせた。

午後は、2 班に分かれて 4 方位での炭素蓄積量調査を行った。班ごとに 2 方位担当したが、それぞれで講師陣を違えることで調査法のノウハウを多様に伝えるようにした。堆積有機物の多寡、深さごとの礫の多寡が方位ごとに異なっていたため、バリエーションに富む調査方法を示すことができた。どちらの班も円筒採土とブロックサンプリングの両方を行うことができた。

埋戻しを含めて全ての作業が終了したのは 16:00。それから下山し 16:50 に解散となった。

参加者のうちインベントリ調査の未経験者が一名だったこともあり、堆積有機物や土壌炭素調査はスムーズに進んだ。しかし、土壌断面が既に作成された状態でしか講習会を受けた経験がなかったため、それぞれの土壌断面作成に粗さが見られるケースもあった。時間が許せば、講習会で土壌断面作成をやってもらうことも必要であろう。

業者の事前準備がしっかりと行われていたため、当日の時間ロスはほとんどなかった。

● 記録写真



開会



枯死木調査（立枯木）



堆積有機物の採取



ブロックサンプリング



円筒採土